

尾道市創業支援補助金 活用事例集

尾道市産業部商工課

※本事例集ご利用上の注意

本事例集は、創業支援事業補助金の利用者の一部を紹介したものであり、尾道市での創業等の例として、参考にさせていただくことを目的とするものです。また、紹介内容についても、創業支援事業の利用者の事業活動の一部です。したがって、活動の詳細や最新情報等と必ずしも一致するものではありません。なお、ご紹介させていただいております創業支援事業について、令和3年度以降についても事業継続を保證するものではありません。

尾道市創業支援補助金

～概要～

目的

尾道市内において新たに創業する者に対して、創業に要する初期費用の経費の一部について、補助金を交付する事業で、市内での創業を促進し、市の産業の活性化を図ります。

対象者

尾道市内で新たに事業を開始しようとする、過去に事業を営んでいない個人・法人

補助対象経費

事業所開設の整備に要する経費（建物の改修または修繕に要する経費）

補助金額

補助率：補助対象経費の1 / 2

補助上限額：50万円

尾道市創業支援補助金 活用事例集

令和2年度



ミカヅキボロロ

～こだわりのカレーライスのお店～



【創業者プロフィール】

<代表> 小林 賢治 さん
<業種> 飲食業(カレーライス)
<創業年月> 2020年11月
<所在地> 尾道市土堂一丁目
<Instagram>
[instagram.com/mikazukibolero/](https://www.instagram.com/mikazukibolero/)

■事業内容について教えてください！

オリジナルカレーライスの専門店です。
小麦粉、バター、化学調味料を使用していないことが特徴です。トロトロになるまで数時間炒めた香味野菜や果物に自家製のブイヨン、スパイス等を加え、じっくり煮込んだカレーです。スパイスの効いた本格的なカレーですが、素材の旨味や甘味を感じられるようバランス良く仕上げています。カウンター9席ほどの小さな店舗ですが、尾道水道を目の前に眺められる席がおお客様にご好評いただいております。

■なぜ独立の道を選んだのですか？

私が飲食業で仕事に没頭し、夫婦の間に時間的なすれ違いが生まれていた中で、妻が病気をしたことが切っ掛けです。これからは一緒に過ごす時間を何よりも大切にしたいと思うようになり、夫婦2人で営む飲食店の起業に向け動き出しました。2人共尾道での勤務期間が長く、開業するなら尾道でと探していたところ、タイミングよく今の場所に出会い決意しました。

■独立して良かったことは何ですか？

開業準備の時期が新型コロナウイルスの流行と重なり大変なことが多かったですが、周りの方に助けていただいたり、支えていただき、人の優しさに触れる出来事がとても多くあり、たくさんの幸せを感じることもできました。
コロナ禍において飲食業も厳しい状況ではありますが、お客様にお褒めのお声を頂く度に夫婦で喜びを噛みしめています。休みの日も仕事のことばかり考える生活になりましたが、夫婦で同じ時間を過ごせ、楽しく充実した日々を送っています。





尾道ビール株式会社

～「メイドイン尾道」のクラフトビール～



【創業者プロフィール】

<代表> 尾道ビール株式会社
代表取締役社長 佐々木真人 さん
<業種> ビール製造業、飲食店
<創業年月> 2021年1月
(会社設立) 2020年6月
<所在地> 尾道市久保一丁目
<ホームページ>
<https://www.onomichibeer.com>



■事業内容について教えてください！

尾道の果物などを使った「メイドイン尾道」のクラフトビールを醸造しています。醸造所に併設されたタッブルーム(醸造所内バー)で出来立てビールを提供したり、瓶ビールにしてお土産物店や飲食店や宿泊所に卸したりしています。

■この事業をはじめたきっかけ、尾道へ移住を決めたきっかけは？

ここ10年程過労のため体調を崩していた夫のまだまだ働きたいんだという思いを知って、今後の働き方を考えるようになっていました。自分たちが作った何かで地域を盛り上げることができないだろうかと考えるようになった私たち夫婦は、大好きなクラフトビールづくりをしたいと考え始めました。また地方創生に興味があったので、どこか地方で始めたいと思い、東京有楽町の移住相談センターで相談しました。3年前にしまなみ海道をサイクリングしたときの出発地だった尾道の風景が気に入っていたこともあり、たまたま開催中の広島フェアの尾道市のブースへ。因島出身の担当者とクラフトビールの話で盛り上がり、その流れで尾道への移住を決めました。市役所や創業支援サポートなどいろいろな方を紹介していただいたので、縁もゆかりもない尾道へ安心して移住し開業の準備を始められました。もしかしたらこれが縁なのかもしれませんね。

■移住・創業して良かったことは何ですか？

この移住開業で第二の人生をスタートしました。今までのモヤモヤしていたものから解放された感があります。尾道には尾道を盛り上げたいとエネルギッシュに活動されている方がたくさんいらっしゃいます。と同時に穏やかな方が多いような気がします。尾道ってそういうところみたいですね。現在、職場へは毎日渡船で通っています。渡船での通勤は人生初めてのことで、渡船からの景色は見飽きることがありません。夫婦で仕事しているとぶつかることも多いのですが、この景色を見ると不思議と怒りもスーッと消えてしまいます(笑)





kado

～洋服とワインとアテ～



■事業内容について教えてください！

kado(カド)は海岸通りの海沿いの角地にある『洋服とワインとアテ』のお店です。オーナーが国内外からセレクトした、身に付ける人の心を動かす上質な普段着と、自然に寄り添うように作られているナチュラルワインと、地元の食材を使いながらその日の気分でメニューが変わる、スパイスを多用したお酒のアテを提供します。



【創業者プロフィール】

<代表> 桃谷 直史 さん
<内容> 小売と飲食
<創業年月> 2021年3月
<所在地> 尾道市土堂一丁目
<ホームページ>
<https://www.kado-onomichi.com>
<Instagram>
[instagram.com/kadoonomichi/](https://www.instagram.com/kadoonomichi/)

■尾道へのUターン・創業のきっかけは？

向島で過ごした少年時代から、大人になったら自分のお店を持ちたいなと思っていました。

大学時代から関西に住み始め、15年ほど京都のセレクトショップで経験を積み、夢実現のための準備を進めていましたが、違う業種で同じ夢を持っている妻との出会いもあり、尾道の海沿いでアパレルと飲食のお店を作る具体的なイメージが出来上がりました。

タイミング的に、コロナの影響も心配されましたが、開放的なお店作りをすることでピンチをチャンスに変えたと思っています。

■Uターン・創業して良かったことは何ですか？

一番良かった事は、妻の料理をたくさんの人に食べてもらえる事です。私が一番のファンなので。

まだオープンして間もないですが、尾道には、みんなで一緒に盛り上げていこうという気概の方が多く、周りの同業種の方がすごく応援して下さるのでとても嬉しく思っています。一度地元を離れてみて、気づいた尾道の良さと、長く住んでいた京都で培った感覚を、海の見えるこの場所で、洋服と飲食で表現していきたいと思っています。



尾道市創業支援補助金 活用事例集

令和元年度



Spoon.

～寛ぎの空間で、お箸で楽しむコース料理を～

【創業者プロフィール】

<代表> 郷原 利寛 さん
<業種> 飲食業(レストラン)
<創業年月> 2019年11月
<所在地> 尾道市土堂二丁目



■事業内容について教えてください！

ギャラリー兼コミュニティサロンの奥にある、隠れ家のようなレストランです。

質の高い食材を選び、素材本来の味を引き立たせたフランス料理を提供します。木のぬくもりある寛ぎの空間で、お箸で気軽にコース料理が味わえます。

日常の慌ただしさから解放され、大切な人と、ゆったりとした特別な時間をお過ごしください。

■なぜ独立の道を選んだのですか？

料理を続けるうちに、いずれは独立して自分の店を持ちたいという意識がありました。

まだまだ先だと思っていましたが、尾道という文化や土地柄と、自分の持ち味を活かせる魅力的な場所と出会い、導かれるように開業を決意しました。

改装や家賃にかなりの資金が必要で不安もありましたが、創業支援などで後押ししていただきチャレンジすることができました。

■独立して良かったことは何ですか？

始めてみて分かることがたくさんあります。

思ったとおりにいかないことばかりで不安になることもありましたが、常に変わっていく時代の流れを読み、すべてを自分事として、試行錯誤しながら変化・成長できるところが他では味わえない感覚だと思います。





ひねもすのたり

～「一日中ゆったり」の意をコンセプトに～

【創業者プロフィール】

<代表> 齋藤 ゆう さん
<業種> 小売業(古本・雑貨)
<創業年月> 2020年3月
<所在地> 尾道市土堂一丁目
<HP>
<https://www.hinemosunotari.jp/>



■事業内容について教えてください！

- ①古本と「のたり品」の販売です。「のたり品とは」…のんびり、ゆったり過ごすときのアイテムです。
- ②「のたり品」のセレクトは店主の独断と偏見とこじつけです！ビールグラスやコースター、ウエストがゴムのワイドパンツなどなど。ハンドメイド商品もあります。
- ③古本は、自分が読んで面白かった本を、ジャンルを問わず並べてます。

■この事業をはじめたきっかけ、尾道へ移住を決めたきっかけを教えてください。

昔から本が好きで、携わるお店を開きたいという夢がありました。数年前からハンドメイドの委託販売やマルシェ出店を始め、物づくりの楽しさを改めて実感しました。作品を気に入って購入してくださる方々が居るといふ喜びと幸せも知っていました。それで、以前から決めていた屋号に合ったコンセプトをつくり、大好きな「本」と「のたり品」のお店をはじめました。当初は地元仙台で物件探しをしていましたが、良い物件に出会えず悶々とする日々。そんな中、いつか住みたい場所だった尾道が思い浮かびました。尾道は好きで何度も訪れていた場所。それと、尾道は移住しやすい環境や補助が整っていたというのも理由のひとつです。転職のタイミングとうまく重なったこともあり、近場に住み込みのお仕事を見つけて広島に来ました。物件探しには約一年かかりましたが、貯蓄もできてちょうど良い期間だったと思います。

■移住・創業して良かったことは何ですか？

開業して良かったことは“お客様との出会い”でしょうか。お客様との会話がとっても楽しいです。そのためにお店をやってる様な気がします。それと、とてつもなくやりがいがあります！すべてが自分次第!!やる事が盛り沢山で大変ですが、マイペースでお仕事ができるので変なストレスはなくなりました。移住して良かったことは、そこも人に関することが一番で、個性的な方やお店が多く、面白いです！いつも穏やかな瀬戸内海を、毎日見られるのも幸せです。私の尾道ライフはこれからです。



尾道市創業支援補助金 活用事例集

平成30年度



はとキッチン

～オトナ味サンドイッチ&クセになるケーキ～



【創業者プロフィール】

- <代表> 平野 貴司 さん
- <業種> 飲食業(カフェ)
- <創業年月> 2018年7月
- <所在地> 尾道市土堂一丁目

■事業内容について教えてください！

オトナ味サンドイッチとクセになるケーキを主体とするカフェです。昔懐かしいコッペパンをアレンジしたサンドイッチのフィリングは全て手作り、アンチョビやオリーブを効かせ、ランチにもお酒のアテにもなるオトナ味に仕上げています。そして、旬の素材を活かしたRakuse Bakeのケーキは、クセのあるクセになる味で、既に多くのリピーターがいらっしやいます。その他にもチリコンドッグやファラフェル(ひよこ豆のコロッケ)などの人気メニューを多数ご用意しております。中庭を有する店舗は、約30年前に彫刻家高橋秀幸氏が手がけた建築をリニューアルしました。ガラス張りの開放的な空間で、ゆったりと穏やかな時間をお過ごしください。



■なぜ独立の道を選んだのですか？

過去にも飲食の道を志したものの挫折したことがあります。独立の道を選ぶには勇気が必要ですが、この度は不思議なご縁で助け手に恵まれ、さらには創業支援補助金も後押しとなり、恐れずにチャレンジすることを決めました。

■独立して良かったことは何ですか？

20数年前に仕事で尾道に来たことがきっかけとなり、その魅力に惹きつけられ、このまちで生活するようになりました。いまの尾道は、その頃とは随分変わり、観光客も非常に増えたように思います。当店にも、そのようなお客様が毎日いらっしやいます。このまちの魅力をけがすことなく、尾道旅行の思い出にプラスとなれば幸いです。



おのみちクリエイターズマーケット ~きっと、見つかる、お気に入り~



【創業者プロフィール】

<代表> 廣瀬 百子 さん
<業種> 小売業
(雑貨・小物販売)
<創業年月> 2018年8月
<所在地> 尾道市土堂一丁目

■事業内容について教えてください！

作り手が多く住む尾道で、尾道のクリエイターのオリジナル作品を展示販売するお店です。

これまで尾道では、イベントなどでクリエイターが作品を販売する機会はありませんでしたが、一堂に集めての常設のお店がなかったので、仲間が集まり、大学生(尾道市立大学)も加わり、賑やかな店内となっております。

■なぜ独立の道を選んだのですか？

尾道には、移住して新しく事業を始める人が多く、また、市の創業支援などの後押しもあり、何かを始めやすい土壌があるように思います。

私自身も、それらに助けられ、スタートすることができました。尾道という街であったからこそ、実現できました。

■独立して良かったことは何ですか？

尾道は、全国、世界中より、観光客の方々が多く訪れますので、日々店頭で立っているだけで、様々な方との出会いがあります。

また独立することで、やる事が多くあり、忙しいですが、毎日本当に充実しています。



尾道市創業支援補助金 活用事例集

平成29年度

Café しましま

～サイクリングと紅茶を楽しむお店～



■事業内容について教えてください！

紅茶と自転車をテーマにしたカフェです。

紅茶の種類は30種類以上、季節限定のフレーバーもたくさん揃えています。

デザートは全て手作りで、紅茶と一緒に楽しめるメニューを季節に合わせて提供しています。

2階のスペースは子ども連れや足が疲れたサイクリストがくつろげるような座敷になっています。

地元に密着したカフェにしたいので、2階のスペースを利用してカフェ英会話教室やワークショップなども開催していきます。

月に一回程度で自転車イベントも開催し、自転車の楽しさの啓蒙、自転車乗りの交流の場にしたいと考えています。

■なぜ独立の道を選んだのですか？

大学、就職で尾道を離れていましたが、帰ってくるたびに尾道水道の景色を見るととても懐かしく、いつか帰ってきたいと強く思うようになりました。

もともと自分のお店を持ってみたいという思いもありましたし、自転車が趣味になり、個人経営のカフェ巡りをしているうちに、自分のこだわりを形にしてお客様と共有できるという魅力に気づきました。親が自営業をしていたこともありましたが、市が創業の補助を行っていることも独立のきっかけになりました。補助金を活用させていただいて、スムーズに創業の夢を実現することができました。

■独立して良かったことは何ですか？

自由なところが何よりも良かったです。

全て自分の思うようにできて、全て自己責任。

これやったらお客さんはどう反応するだろう？

と試してみて反応を探っていくのは難しいけれど、やりがいがあります。

また、会社勤めにはない人脈の拡がり大きいです。

人と人の繋がりがたくさんできてとても楽しい、為になります。



【創業者プロフィール】

<代表> 辻 梨恵 さん
<業種> 飲食業(カフェ)
<創業年月> 2017年8月
<所在地> 尾道市土堂二丁目
<HP>
<http://cafe-shimashima.com/>



はっさく工房まつら

～はっさく大福 因島から全国へ～



■事業内容について教えてください！

大福の製造・販売を行っております。

当店の一番の人気商品『はっさく大福』は、八朔を白あんでくるみ、そのあん玉をみかんをつき込んだお餅で包みこんだジューシーな大福で、多くの皆様にご愛顧いただいております。

■なぜ独立の道を選んだのですか？

サラリーマンを辞めて独立することに多少の不安はありましたが、元祖はっさく大福考案者の柏原伸一師匠に弟子入りすることで、自分が好きなはっさく大福の美味しさを、皆さんに自分の手で伝えたい、また、今の子供たちに季節のお餅を食べることで、四季を感じ、日本の伝統や文化を知ってもらいたいという思いが私の独立への大きな一歩だったと思います。

また、周りの方のご支援、尾道市の創業支援での援助が私の背中を押してくれたように思います。一人ではない、たくさんの方に支えられている、尾道のお店として市をあげて協力して下さるここ因島にお店を構えられたこと、本当に嬉しく思っております。

■独立して良かったことは何ですか？

働く時間が自由になったこと、そして何より仕事をするのが楽しくなったことです。大福を作り販売するということがとても楽しく、素晴らしい仕事であると思っています。全て自己責任ではありますが、日々の仕事に充実感があり、また、たくさんのお客様と接することで、今までとは違った楽しみが増え、1日1日があっという間に過ぎるようになりました。今後も皆様が笑顔になれるような商品づくりとお店を目指して頑張っていきたいと思っています。



【創業者プロフィール】

<代表> 松浦 裕充 さん
<業種> 製造業(和菓子)
<創業年月> 2017年11月
<所在地> 尾道市因島田熊町
<HP>

<http://はっさく.com/index.html>